



旧年中は格別のご高配を賜り誠にありがとうございました。本年も、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

池田記念美術館職員一同

イケビふれあい通信

2026
新春号

No.122

◆丙午の年に

い手仕事の作品や美味しいもの、個性豊かな古本を揃えて皆さまのお越しをお待ちしています。雪見展終了後は、ミュージアムショップの棚や平台を使用し、無人の委託販売コーナーを設け、小さなお店が登場します。「第70回記念 南魚沼郡市児童生徒美術展」の開催中にあわせ、入館無料になりますので、ぜひ、年明けもイケビに遊びに来てください！

令和8年の干支は丙午とのこと。前回は60年前だから、1966年です。この年は迷信に惑わされたのか、出生率が25%も減少したのだそうです。少子化が進行中の我が国ですが、今回はそんなことがないように願います。まだ小学生だった時代の記憶は遠のくばかりですが、高度成長期の真っ只中で、ビートルズが来日したのもこの年でした。

新たな年を迎える今年の企画展をいくつか紹介します。裏面にも書きましたが、春になつたら美術館を動物園にしようと考えています。キリン、ダチョウ、ゴリラ、シマウマ、カンガルー、マレイバクなど、ほぼ等身大の立体作品を展示します。

秋には、多摩美術大学の絵画学科を70年（）90年代に卒業した作家45人による「壁を超えたか？」展を開催。作家にとつて「壁」とは何だつたのかがテーマです。その後、高校生がキュレーションする美術展をやります。2年前の「アート試食会」を凌ぐ展覧会にするべく、すでに10名近い高校生が探究活動を重ねているところです。

新緑が美しい季節から
着任してから早くも半
年が経つ。八海山・駒ヶ岳の
雪景色です。美術館の
晴れの日に日向ぼっこ
最高です。池にいる鴨
近づくとスースと離れ

90年代に卒業した作家45人による「壁を超えたか?」展を開催。作家にとつて「壁」とは何だったのかがテーマです。その後、高校生がキュレーションする美術展をやります。2年前の「アート試食会」を凌ぐ展覧会にするべく、すでに10名近い高校生が探究活動を重ねているところです。

に風景写真家の佐藤尚さんの講演会を開催します。佐藤さんはプロの写真家で、47都道府県を車で回り、田園や里山の風景を撮影しています。魚沼をテーマにした写真集『こころの故郷－魚沼の風景を撮る』も出版しています。講演会のテーマは「ここが好きだから通い続ける。－魚沼を撮る“方法と視点”－」です。佐藤さんが20年以上魚沼に通う魅力とは何か、趣味から一步進めて、作品にオリジナリティを持たせるために重要な方法と視点をお話いたします。ご参加をお待ちしています。（広田かおり）

地域おこし協力隊に着任してから早くも半年以上が経ちました。新緑が美しい季節からあつという間に純白の雪景色です。美術館のエントランスから見られる八海山・駒ヶ岳の眺望はとても綺麗で、晴れの日に日向ぼっこをしながら眺めるのが最高です。池にいる鴨は警戒心が強いのか、近づくとスーッと離れていいってしまいます。その後ろ姿を見送るたびワタワタと逃げる様子が可愛らしいような少し寂しい気持ちになりますが、いつか慣れてくれる日を気長に待ちたいと思います。



90年代に卒業した作家45人による「壁を超えたか?」展を開催。作家にとつて「壁」とは何だったのかがテーマです。その後、高校生がキュレーションする美術展をやります。2年前の「アート試食会」を凌ぐ展覧会にするべく、すでに10名近い高校生が探究活動を重ねているところです。

(高橋良一)

(広田かおり)

◆イベント盛りだくさん

旧年中はお世話になり、ありがとうございました。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、イケビ恒例となつた真冬のケーブトマーケット雪見展&一箱古本市ですが、今年は11日（日）12日（月・祝）の2日間開催します。一箱古本市は一足早く新年の開館5日（月）から18日（日）まで開催します。温か



錯覚展の展示作品「錯覚富嶽三十六景 滾巻き波乗り」。波は渦巻きに見えますが、波を表す図形要素は円に沿って並んでいます。波は、いくつかの円を組み合わせて表現されています。

池田記念美術館 展覧会・イベント情報

■第70回記念 南魚沼郡市児童生徒美術展

◎1階企画展示室、多目的ホール ◎期間：1月5日（月）～1月20日（火）※最終日15時終了
南魚沼市及び湯沢町の児童生徒の作品約400点を展示。会期中は全館無料です。

【関連イベント】

■1月17日（土）・18日（日） ワークショップ「節分かざりをつくろう！」
13:30～（随時受付、所要時間1時間程度） 参加費：300円（材料費）

■雪見展＆一箱古本市

◎エントランスホールほか

真冬のクラフトマーケット「雪見展」と「一箱古本市」を今年も開催します。対面販売の2日間は毎年、2,000人以上の来館者で大賑わいです。

1月5日（月）～18日（日） 一箱古本市

1月11日（日）～12日（月・祝） 対面販売（たこ焼き・クレープ・カレー・おにぎりなどの移動販売車、館内ではパン・焼き菓子などの食品コーナー、小物やアクセサリーなどのクラフトコーナー、リラクゼーションコーナーなど、毎回50店舗以上が出店します）

1月13日（火）～4月4日（土） 委託販売（ミュージアムショップの平台や棚を使用し、クラフト関係の店舗が出店します）

【冬季開館時間の変更】

9:30～17:00
期間：3月31日まで
(4月2日から9:00開館)

1月5日～1月20日
イケビは全館無料！

【1月、2月、3月の休館日】

【1月】 1月1日～4日、7日、
14日、21日～23日、28日
【2月】 2月4日、12日、18日、
25日 ※2月11日（水・祝）開館
【3月】 3月4日、9日～13日、
18日、25日

3月14日（土）～4月4日（土）
池田記念美術館収蔵品展

【4月の美術展】

島田忠幸 八色の森の動物園
プリニウスの動物たち
4月11日（土）～5月31日（日）

プリニウスとは古代ローマ時代の軍人にして博物学者。当時の百科事典ともいえる『博物誌』の著者として知られ、西暦79年のヴェスヴィオ火山の大噴火で殉職した人物。1970年代に砂を素材にした彫刻作品で美術界を驚かせた島田忠幸は90年以降、主にアルミニウムを用いた作品を発表。生き抜くために多様に変化した動物の形と生き様に圧倒され、2015年頃から「プリニウスの動物」シリーズを制作しています。今回の企画展では、室内の展示室だけではなく、八色の森公園内の野外展示も計画。作品の予定数は63点！八色の森を舞台に、動物たちの躍動する生命力を展示・紹介します。

島田忠幸（しまだ・ただゆき）
1946年東京都生まれ
現在、茨城県取手市で制作活動



公式LINE



公式note

■第15回記念 魚沼ベストショット展

◎1階企画展示室、2階展示室 ◎期間：1月24日（土）～3月8日（日）※最終日15時終了

県内外の出展者が美しい風景の宝庫である魚沼に魅せられて撮影した自慢のベストショットを発表。県展や市展などの入選者も多く、年々レベルアップ。今年は15回記念展となります。

【関連イベント】

■1月24日（土）14:00～15:00 ■2月7日（土）13:30～14:30 作品解説会

■2月7日（土）

15:00～16:00 記念講演「ここが好きだから通い続ける。一魚沼を撮る“方法と視点”」
講師：佐藤尚（風景写真家） 参加費：入館料が必要（高校生以下無料）

■【冬季特別展示】第9回 錯覚展2026－杉原教授の不思議な世界－

◎1階多目的ホール ◎期間：1月24日（土）～4月4日（土）※最終日15時終了

東大名誉教授、明治大学研究特別教授で、世界中の研究者が覇を競うベスト錯覚コンテストで何度も優勝実績を持つ、錯視研究の第一人者、杉原厚吉先生が制作した作品を約70点展示します。イケビの名物展覧会です。3月9日（月）～13日（金）は展示替え休館となります。

【関連イベント】

■1月24日（土）

10:00～15:00（随時受付） ワークショップ「紙と折り紙で錯覚作品を作ろう」
講師：杉原厚吉先生 参加費：入館料が必要（高校生以下無料）

■3月8日（日）予定

9:00～15:00 「雪の錯覚すべり台」大公開！ 一日限り！

会場：八海山麓スキー場（南魚沼市荒金）

八海山麓スキー場の冬季イベント「ホワイトカーニバル」に協賛して、今年も巨大な「雪の錯覚すべり台」をお披露目します。杉原教授、地元ボランティアのみなさんの協力で制作。高さ9mほどの見晴台から見下ろすと、なんと、ソリが斜面をのぼっていくように見える驚きのすべり台です。えっ、そんなことあり？（助成：内田エネルギー科学振興財団）

■問合せ先：八海山麓スキー場 電話：025-779-3103

池田記念美術館 南魚沼市浦佐5493-3（八色の森公園内）

TEL 025-780-4080 / FAX 025-777-3815

【冬季開館時間】9:30～17:00（入館受付は16:30まで）

【休館日】水曜日（祝日の場合は翌日）

【入館料】一般 500円（各種割引あり、高校生以下無料）

アクセス

上越新幹線JR浦佐駅東口より約1km、徒歩15分

関越自動車道大和スマートI.Cより車3分

六日町I.Cより車15分、魚沼I.Cより車10分

【ホームページ】<http://www.ikedaart.jp>

